

非営利組織(NPO等)の皆さまへ



グッドガバナンス認証って何だろう？

一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)



2020年7月1日

連絡先 (e-mail) office@jcne.or.jp

(Tel) 03-6457-9721

(担当者)猪俣、奥江

ご参考 (URL) <https://jcne.or.jp/>

グッドガバナンス認証とは、第三者認証です。
(だから「信頼性の証し」になり得るのです。)



第三者認証とは、組織自身ではなく、外部の機関が第三者として審査し、認証をするものです。組織との利害関係のない、公平・公正な判断ができる第三者機関の認証を受けることにより、支援者・協力者に対し、またNPO自身にとっても、信頼性の向上が期待できます。

(例えば、ISO認証やプライバシーマークなどがそれにあたります。)

JCNEは第三者機関として組織評価を実施することで、グッドガバナンス認証マークの普及を図っています。NPOの信頼性を「見える化」する、日本で初めての、そして唯一の広域評価機関です。

グッドガバナンス認証を取るとどうなるの？ (JCNEが認証事業を進めたい理由がここにあります。)



貴方のNPOがみんなから好かれます。(信用されます。)

- ✓ 職員さん自身が自分のNPOを好きになります。(自信が持てます)
- ✓ 外部の人も安心して、このNPOのお世話になったり、寄付したり、・・・ (関係が広がります)

グッドガバナンス認証を取るとどうなるの？

日本の未来を作ります。(好循環が生まれます。)

- ✓ 認証取得NPOが1つずつ増えていく → 認証取得が助成や寄付の基準となる(信頼性の見える化) → 認証取得NPOがさらに増える → NPOへの支援の整備、拡大 → NPOにさらなる活力
- ✓ 未来の多くのNPOのために、どうか貴方のNPOがファースト・ペンギン(新しい道を切り開く先導役)になってください。

事業を固めたそのあとは、組織を固めてみませんか？

(これがグッドガバナンス認証の効果です。)



NPOの楽しみって、みんなで夢を語っているときではないでしょうか。

- ✓ 中期計画を作りませんか。夢を貴方の頭の中にしまい込んでおくのはもったいない。

NPOを支えているのは、なんといっても職員さんたちです。

- ✓ 職員さんたちは自分の生活を掛けて、このNPOの仕事に取り組んでくれています。
- ✓ その職員さんたちのために雇用関係の規程を整備し、明示し、実行／改善しましょう。

貴方の取り組みを社会に伝えるのは、NPOとしての使命です。

- ✓ 貴方が思う社会課題を積極的に社会に話してこそ、本当の課題解決につながります。
(そこが個人としてのボランティアと、法人としてのNPOの違いです)
- ✓ NPOの取り組み(これまでの成果と今後の夢)を大いに社会に説明しましょう。

そして貴方のNPOを長く安定して続けてもらいたい。社会のために。

- ✓ 関係する人みんなが参加意識を持って、さらにそのNPOの運営の仕組みが明確で分かりやすい、これが長く続けるコツです。
- ✓ **JCNEのグッドガバナンス認証には、この長く続けるコツの要素が詰まっています。**

約3～6か月、一緒に少しずつ山を登りませんか？ (これがグッドガバナンス認証取得までの流れです。)



グッドガバナンス認証(アドバンス評価)

- NPOの信頼性を担保する27項目を、JCNEは厳選しました。
- まずはJCNEが書類(規程類や議事録等)を確認します。改善項目があればやり取りしながら改善していきましょう。
- 次にJCNEが貴方の事務所にお邪魔し、NPOの活躍の現場を拝見します。もし改善項目があれば改善していきましょう。
- 書類確認や訪問評価はテストではありません。改善の相談です。
- 27項目を全てクリアしたら、グッドガバナンス認証です。

- ✓ 職員の安心、自信
- ✓ 利用者も安心
- ✓ 寄付者も安心
- ✓ 長く安定したNPO活動

JCNEでは書類確認と訪問評価を合わせて、**アドバンス評価**と呼んでいます。

27項目の書類確認
& 一緒に改善

27項目の訪問評価
& 一緒に改善

グッドガバナンス認証

(注)国による認定NPOの制度は、税制上の優遇措置の制度です。グッドガバナンス認証とは民間による組織評価の認証制度で、NPOの信頼性の証しとなります。認定NPOよりも、より実際的な内容で評価します。

結果だけではなく、評価の過程により組織基盤を強化することができます。

- 対象：NPO法人（認定・特例認定を含む）、
一般法人（非営利型）、公益法人、社会福祉法人
 - 評価手法：書面評価と訪問評価
グッドガバナンス評価員と評価員補佐（JCNE事務局）で実施
 - 評価基準：27項目
分野/事業内容・組織規模を問わない評価基準
事前の書面評価と3時間の訪問調査の構成
事業のプロセスやガバナンスの状況をヒアリングし、評価
- ⇒ 評価過程と結果を通じて組織の基盤強化に役立つものを提供

申請から認証までは、早くて半年、長くて1年半かかります。
この機会にガバナンスや組織運営に向き合ってみませんか。



申請前に相談を受け、条件を満たしているか等確認ができます。

- 1 申請書の提出 ※14日以内に評価料の納付
- 2 自己評価に取り組み、提出データの準備をする
- 3 様式と提出データをメールまたはGoogle共有
- 4 【JCNE】提出データの確認
- 5 訪問日時の調整連絡
- 6 【JCNE】書面評価
- 7 【JCNE】改善サポート 不足がある項目についてアドバイス
- 8 【JCNE】訪問評価
- 9 【JCNE】評価報告書の作成・送付
※基準を満たしていない項目の改善サポート
- 10 【JCNE】グッドガバナンス認証審査委員会
※全基準満たしている団体を対象に「認証決定」「認証保留」を審査。
- 11 ・【JCNE】「グッドガバナンス認証決定」の通知
- 12 通知から1か月以内に認証料を納付
- 12 【JCNE】グッドガバナンス認証団体として登録・公表
- 13 【JCNE】グッドガバナンス認証書を発行・送付

改善のサポートがあります。

中間支援やNPOコンサル、中小企業診断士など研修を受けたグッドガバナンス評価員があなたの団体を訪問します。



- 団体事務所をグッドガバナンス評価員1名と評価員補佐1名で訪問して、評価を実施します。



あなたの団体の組織運営や事業推進プロセスについて、専門家である評価員がヒアリングします。評価は結果はもちろんですが、自己評価や経過を通して、団体は自団体の見直し、整理、改善に取り組むことができます。

27個の魔法の扉(チェック項目)がNPOの信頼性を高めます。 (これがアドバンス評価のイメージです。)



アドバンス評価(書類確認+訪問評価)での主なチェック項目 (実際には27項目あります)

学びと創造	<ul style="list-style-type: none">■ 外部(利用者及び広く市民を含む)との意見交換がなされる仕組みは整っていますか? 外部の意見も取り入れていますか?■ 自分たちが思う社会課題を広く社会へも問い掛けていますか?■ 内部の風通しは良いですか? 皆で情報を共有していますか?■ NPOをつないでいくための人材育成はどのようにしていますか? など
市民参加と協働	<ul style="list-style-type: none">■ ボランティア、イベント、会員制度等、市民が活動に参加する機会がありますか?■ 他のNPO、行政、企業等と連携した活動や情報交換がありますか?■ 寄付の呼び掛けも大事なNPO活動です(市民にとってNPO活動を知り、寄付という形で参加するチャンスです)。積極的に行っていますか? など
社会的責任と信頼	<ul style="list-style-type: none">■ NPOとしてのメンバーの行動規範(倫理規範、環境行動)は明示していますか?■ 役員さんとNPOの間に不正な取引はありませんか?■ 職員さんの労働条件、職場環境は法律を準拠し適切に整備していますか? など
自立と自律	<ul style="list-style-type: none">■ 中期計画を作成していますか?■ NPO活動を続けていくうえでの「リスク」を洗い出していますか? そしてその対処法まで整っていると、尚良です。■ 社員総会、理事会、監事さんは法律を意識しながら適正に機能していますか?■ 経理(財務諸表の作成)、出納(お金の管理)に問題はありますか? など

クリアーするための若干のヒントを差し上げます。

(あくまでも参考例です。アドバンス評価は決して難しいものではありません。)



グッドガバナンス認証



JCNE
JAPAN
CENTER for
NPO EVALUATION

- 1 中期計画を作成されていないNPOが多数あります。普段仲間と話している数年後の夢（NPOとしてやってみたいこと、こうなるといいなということ）を少しずつ書き出してみたいかがでしょうか。形は問いません。それが中期計画です。あとはそれを時々、時間を掛けながらゆっくりと、形も内容も精度を上げていけば良いのです。
- 2 社会とのやり取り、まずは貴方のNPOの情報をホームページで公開するところから始めてください。－ 活動計算書、貸借対照表、財産目録、財務諸表の注記、事業報告、役員報酬の総額、定款、監事さんの監査報告書、そして忘れがちなのが今期の事業計画。
- 3 雇用関係の手続きの整備も大切です。－ 雇用契約書、就業規則、出勤簿（朝夕の業務開始・終了時刻の記録）、労基署への届出（10人以上雇用の場合は義務です）。
- 4 リスクの洗出し、これはNPOにとって役に立つはずです。－ xxさんが退職した後の後任はいるだろうか？ xxの機械が壊れたら？ xxの申請が通らなかったら？ 寄附金がxx円を割ったら？ コロナ感染が広まったら？ 大雨災害に遭ったら？ 不安に思うことを何でも書き出してみてください。→ 次のアクションにもつながっていきます。
- 5 備え付けた方がよい各種の規程や規範の文書がない場合は、JCNEがサンプルを提供することができます。

グッドガバナンス認証を取るのに、いくら掛かるの？

(JCNEもファースト・ペンギンを支援させていただきます。)



貴方のNPOから頂戴する認証料金で、この認証の制度が支えられています。

▶ **ただし今は多くのNPOに認証取得をトライしてもらえよう、営業キャンペーン中です。**
 以下の料金表の赤字になっている箇所について、2020年度(2021年3月まで)は、

- 2020年度中のWeb経由で一般の申込みは**半額**となります。
- (注)半額となる認証料は1年目分のみです。(2、3年目分は通常料金)
- (注)JCNEより直接声掛けをした団体やセミナー参加団体等は別途お問合せください。

グッドガバナンス認証 料金表 (2020年7月現在)

	評価料	認証(登録)料	3年分前払い 認証(登録)料	更新 評価料	認証は 3年間 有効です。 3年後は 更新評価 を受けて いただき、 認証を更 新します。
経常支出が年間2,000万円 未満のNPO	(税抜き) 5万円	(税抜き) 1年分、4万円	(税抜き) 9万6千円	(税抜き) 4万円	
経常支出が年間2,000万円 以上～1億円未満のNPO	(税抜き) 8万円	(税抜き) 1年分、6万円	(税抜き) 14万4千円	(税抜き) 6万円	
経常支出が年間1億円以上 のNPO	(税抜き) 12万円	(税抜き) 1年分、15万円	(税抜き) 36万円	(税抜き) 10万円	

お申込み時にお支払いいただきます。

27項目をクリアして認証を受けた後に
1年分ずつお支払いいただきます。

認証料を3年分一括前払いいただくと認証料全体で2割引
きの金額となります。(最初に頂戴する評価料は同じです)

3年後にお支払いいただきます。

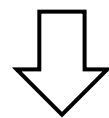
ご興味を持たれた方、どうぞお気軽にJCNEまでご連絡ください。
(申し込む／申し込まないは関係ありません。ご質問、ご相談を。)



1つのNPO

グッドガバナンス
認証

社会全体



ご興味を持たれた方はぜひJCNEへご連絡ください。

連絡先 (e-mail) office@jcne.or.jp
(Tel) 03-6457-9721 (担当)猪俣、奥江
ご参考 (URL) <https://jcne.or.jp/>

- グッドガバナンス認証(JCNE)が目指すところ
社会の中に「好循環」を作り出す。
- グッドガバナンス認証(JCNE)が貴方のNPOに願うこと
NPOを長く安定して続けてもらいたい。
社会のために。
- グッドガバナンス認証(JCNE)が貴方のNPOにお願いしたいこと
ファースト・ペンギンになってもらえませんか。